

平成 29 年度 第 3 回 学校運営協議会 (HP 用)

司会：岩碕 篤 全日制教頭

日時：平成 30 年 3 月 19 日（月） 16 時 20 分～17 時 00 分

場所：会議室

【出席者】

長田 利彦 (元本校校長、東海大学講師)  
近藤 赳夫 (城北自治会長)  
星寄 文克 (小田原市立桜井小学校教頭)  
市川 嘉裕 (小田原市立城北中学校校長)  
木村 亘 (小田原市役所市民部地域政策課)

[本校職員]

改田 晃 校長  
八田 直昭 副校長  
岩碕 篤 教頭 (全日制)  
蓑島 信成 総括教諭 (全日制)  
荻野 賢 教頭 (定時制)  
磯田 裕也 教諭 (全日制) 広報連携グループ

次第

- (1) 会長あいさつ
- (2) 校長あいさつ

交通安全大会を幹事校として実施。大変充実した大会となった。

ヤングライダーズスクールに参加しているが定時制生徒も参加させたい。

今年は自殺防止対策として講師を招いて、講演を一部の学級で実施した。

地域に愛される工業高校の実現に向けて、桜井キッズフェスタでは定時制生徒が参加したが非常に良かったので今後も参加させてもらいたい。

- (3) 協議

① 今年度の取組の報告 (八田副校長・荻野教頭)

○八田副校長より

資格取得者数および 3 学年生徒対象実施アンケート内容を報告。

○荻野定時制教頭より

資格取得者数および 3 学年生徒対象実施アンケート内容を報告。

定時制 65 名在籍で少ないが、1 年生中途退学者が現在おらず、よい学校生活を送れている。

② 学校評価部会からの報告及び今年度の総括および③ 各委員からの意見聴取

○長田委員より

地域に根付いた工業高校づくりは今後も取り組んでもらいたい。

地域目線における城北工業という存在は話題になることが多い。全国にある工業高校は色々な取組をしている。例えば資格取得に関して、電気工事士2種を全員受検させて全員合格させた工業高校もある。城北でもこういった取組をできるのではないか。中学校における職業体験、高校におけるインターンシップなど、今後体験させることが推進されていくが、受け皿が少ないとの話は全国的なこと。例えば、保護者が経営する事業所などの協力を得て、勤務先に引き受けてもらうことが可能であれば受け入れ先を増やすことができる。

○木村委員より

JR 東日本の東海道線改札にある顔出しパネルは撮っている方も多く見かけるので非常に良い。市役所としては多世代間のコミュニケーションの場を設けている最中だが、そういった場に高校生がいてもよい。

○近藤委員より

学校の食堂を地域の人が交流できるサロンのような場として活用できるのではないか。そこに高校生も入って交流できるとなお良いと思う。

○八田副校長より

その場にふくらんも参加できれば親睦もさらに深めることができる。

(4) 情報交換

(5) その他

(6) 当日配付資料

資料1：平成29年度学校評価報告書（全日制）

資料2：全日制資料

資料3：平成29年度学校評価報告書（定時制）

資料4：定時制資料